

事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 7 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	水産物供給基盤機能保全事業				会計区分	1	一般会計		所管部署	農林水産課				
					予算科目	6	款	3	項	3	目	農林水産費		
事業番号	3075				事業区分	政策的事業【義務】								
評価の種別	☐ 詳細評価 ☒				簡易評価（事業の概要・結果のみ）									
総合計画での位置づけ	基本目標		産業振興都市の創造											
	基本施策		持続的な林業・水産業の振興											
根拠法令等	漁港及び漁場の整備等に関する法律、水産物供給基盤整備事業等実施要領													
関係する計画等														
事業の目的 【ゴール】	対象	漁港施設												
目指すべき姿を簡潔に	意図	水産業の健全な発展と水産物の安定供給を図るため、計画的に整備してきた施設が老朽化してきたことから施設の長寿命化を図りつつ更新コストの平準化・縮減を推進する。												
事業内容 【アクティビティ】	漁港施設の機能の保全を行うために必要な、機能保全計画の策定及び保全工事を行う。													
事業の実施方法	☐ 直営	☐ 一部委託	☒	全部委託	☐ 指定管理	☐ 補助金・負担金等	☐ その他	（ ）						
本事業とSDGs (持続可能な開発目標)との関連性	☐ ゴール 1	貧困をなくそう				☐ ゴール 7	エネルギーをみんなに そしてクリーンに				☐ ゴール 13	気候変動に具体的な対策を		
	☐ ゴール 2	飢餓をゼロに				☐ ゴール 8	働きがいも経済成長も				☒ ゴール 14	海の豊かさを守ろう		
	☐ ゴール 3	すべての人に健康と福祉を				☐ ゴール 9	産業と技術革新の基盤をつくろう				☐ ゴール 15	陸の豊かさを守ろう		
	☐ ゴール 4	質の高い教育をみんなに				☐ ゴール 10	人や国の不平等をなくそう				☐ ゴール 16	平和と公正をすべての人に		
	☐ ゴール 5	ジェンダー平等を実現しよう				☒ ゴール 11	住み続けられるまちづくりを				☐ ゴール 17	パートナーシップで目標を達成しよう		
	☐ ゴール 6	安全な水とトイレを世界中に				☐ ゴール 12	つくる責任つかう責任							

前回評価の振り返り

評価年度 令和 4 年度	事業遂行に係る課題・改善点	課題解決に向けた具体的な方策等	左記に対する対応状況
最終判断	漁協の漁期により工事施行時期に制限が掛かるため、関係者と日程調整を図る必要がある。	⇒ 漁協等関係者と協議を行い、繁忙期を外して発注を行い日程の調整を行う。	⇒ 漁協関係者に聞き取りを行い、夏場の繁忙期を外した時期に発注を行い、施工を行った。
現状維持			

事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳（千円）						事業費の内訳							
項 目		R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R - 要求		節	細節	事業費（千円）				摘 要 ※代表的なものを簡潔に
									R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R - 要求	
予 算	当 初 予 算	5,000	21,000	4,000		例 年 支 出 の あ る も の							
	補 正 予 算	810	0	800									
	前年度から繰越		1,300										
	予 備 費 等		436										
	計	5,810	22,736	4,800	0								
決 算	執 行 額	4,510	22,701	4,717									
	翌年度へ繰越	1,300											
財 源 内 訳	国庫支出金												
	県 支 出 金	2,255	11,100	2,350									
	地 方 債	2,200											
	そ の 他												
	一 般 財 源	55	11,601	2,367									
	執行率（％）	100.0%	99.8%	98.3%									
	当初予算＋補正予算に 対する執行額の割合（％）	77.6%	108.1%	98.3%									
正規職員の人工数	0.48	0.48	0.48		臨 時的 な も の	工事請負費	4,510				上灘漁港物揚場機能保全工事		
						工事請負費		1,265			上灘漁港物揚場機能保全工事		
						委託料		21,436			上灘・豊田漁港機能診断調査業務		
						工事請負費			4,717		上灘漁港物揚場機能保全工事		
1人工当たりの人件費単価	7,794	7,765	7,895			上記以外の事業費合計						一般事務費、上記で書き表せないもの	
※ 執行額＋人件費	8,251	26,428	8,507			事業費の総計			4,510	22,701	4,717	0	

事業活動の実績【アウトプット】

活 動 指 標	項 目		単位	目指す方向性	R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	事業活動の成果【アウトカム】	
	指 標 ①	保全工事必要箇所	箇所	↓	1	1	1	事業遂行に係る工夫点・事業成果	機能保全計画の見直しを行い、各漁港施設の老朽化を把握し、施設の長寿命化計画策定の際には漁協の使用頻度や要望等を含めた計画を策定することができた。 保全工事についても、計画に基づく工事施工ができています。
	指 標 ②	機能保全計画見直し	漁港	→	0	2	0	事業遂行に係る課題・改善点	漁協の漁期により工事施行時期に制限が掛かるため、関係者と日程調整を図る必要がある。 施設の老朽化状態と使用頻度に乖離があり、関係者と事業実施箇所の調整を図る必要がある。
	指 標 ③							課題解決に向けた方策等	漁協等関係者と協議を行い、繁忙期を外して発注を行い日程の調整を行う。 施設の利用方法等について聞き取りを行い、使用頻度も含めた実施計画を行う。
	指 標 ④								

※ 目指す方向性が「－」の指標は、「事業把握のための実数」が入力されています。